

[A部会 発表要旨]

学習指導要領を踏まえた教科指導力向上のための基礎形成研修

岐阜県総合教育センター

課長補佐 井上 達也

I はじめに

県内の教職員構成において、若手教員の占める割合が年々増加している。働き方改革が叫ばれる中、学校内外での研修の充実と若手教員の指導力向上が「喫緊の課題」として、これまで以上に求められるようになった。

そこで、本県では、経験年数2～5年目の若手教員を対象にした「基礎形成研修」を企画し、若手教員の指導力向上に向け、様々な研修を行っている。本発表では、特に学習指導要領を踏まえた教科指導力向上のための研修について、その取組を報告する。

II 取組概要

1 岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標の活用

- (1) 指標に基づいた研修の枠組み
- (2) 基本コンセプト

2 学習指導要領の趣旨を理解し、具体的な実践に結び付けるための工夫

- (1) 実感を伴わせるキーワードの活用
- (2) 小集団交流（ブレイクアウトセッション）の位置付け
- (3) 教科書の使い方の指導

3 今日的な教育課題への実践的な対応力を高めるための工夫

- (1) 資質・能力の育成に向けた評価の在り方
- (2) 効果的なICT活用

III 成果・課題と今後の方向

- ・指標に基づき、コンセプトやテーマを明確にした研修を企画、運営したことは、受講者が自らの課題を明確にし、目的意識をもって研修に臨む姿につながった。また、受講者同士がつながる場や機会を意図的に設定し、受講者の声を生かしつつ研修を進めたことに対し、好意的な意見が多く寄せられた。
- ・若手教員（基礎形成期）であっても、個人の実態は異なる。それぞれのニーズに応じつつ、実践的指導力や学ぶ意欲の向上に結び付ける研修の在り方を探っていきたい。また、受講者の授業改善につながるように、ICT端末を活用した実践事例を共有できる研修方法を探っていきたい。